

子育てネットワークの整理

(参考文献：住民主体の地域子育て支援：全国調査にみる「子育てネットワーク」、
山縣文治 監修、中谷奈津子 編、明石書店、2013年)

ネットワークの目的	捉え方
・子どものために地域の大人や高齢者がつながる	・「つながり」に着目
・子育てに近い社会的施設や機関(行政、保区所、幼稚園、保健所など)が主体となり、子育て当事者の親を援助するために連携	・親は支援される客体 ・こちらは支援する側、こちらは支援される側
・子育てのためのつながり	・主体は親でも、支援機関が横並びではない
・子育てサークルがネットワーク	・子育て当事者の親が、支援される客体から自己決定できる主体へ変わるプロセス
・支援者や専門職による連携	・網の目のような組織のつながり
・「～ネットワーク(の会)」のような組織	・明確な課題意識がある
・市民主体の組織	・市民が行政や専門職をネットワークに巻き込む ・子育て当事者も主体 ・支援する側、される側ではなく、両者が相互依存的な関係

群馬県子育て支援ネットワーク形成事業

選考：事業計画書を公募する競技方式

委託内容

- (1) 子育て支援情報の充実事業：子育てノート、子育てカレンダー、遊び場マップ等の作成活動
- (2) 研修会・勉強会開催事業：子育て当事者や子育て支援者のための資質向上研修又は学習活動
- (3) 親子や子ども同士の仲間づくり事業：遊びを通じた交流による仲間づくり、孤立した親子の支援活動等

委託事業費：1件当たりの上限50万円

花巻市地域子育て支援情報ネットワーク事業

目的：地域に開かれた子育て支援活動団体や子育て支援関係者との情報ネットワークを構築

子育て情報を交換し連携を図りながら、地域の子育て支援の充実を推進していくことを目的

概要：登録要件を満たしている団体等が登録申請書を提出して登録

年2回程度の子育て支援活動団体・関係者を対象に相互の交流の場、情報交換や研修

地域の子育て支援活動団体・子育てサークル等の活動をリーフレットにまとめて情報発信

スタッフによる、親子の交流や子どもの遊びなど、活動内容のアドバイス等

新座市子育て支援ネットワーク事業

特徴：家庭教育の支援及び地域での子育て支援の充実のため、各種関係機関（行政関係をはじめ NPO 法人などの地域活動団体も含む）と連携して事業を展開

民間の活動について市が相談を受け、必要な支援を行い、市民の自発的な子育て支援運動を支えていく

子育てにおける地域の力の活用を重視して、公的な支援だけでなく民間支援も活用

目的：子どもの「生きる力」の基礎的な能力を培う上で重要な役割を担う家庭教育の支援及び地域での子育て支援の充実を図る

内容

- (1) 新座市子育て支援ネットワーク推進委員会
- (2) 新座子育てネットワーク運営委員会
- (3) 育て支援交流事業（子育てサロン、ステップ・サロン） 事業委託
- (4) 地域交流事業（子育てネットワークフェスティバル） 事業委託
- (5) 子育て情報提供事業（子育て通信、子育て情報誌） 事業委託
- (6) 普及啓発・育成事業（子育て応援隊セミナー、子育てサポーター上級養成講座）
- (7) 子育て相談事業（お母さんのあそびタイム）
- (8) サポーターリーダー養成事業 家庭教育支援総合推進事業
- (9) 子育て講座事業（子育て講座 A、子育て講座 B、子育て講座 C） 家庭教育支援総合推進事業

NPO せたがや子育てネット

・情報提供による子育て支援

まちの情報を共有できるなどのインターネットによる子育て支援情報発信

子育て情報メディア「せたがや子育てライフ」の発行

行政情報「世田谷子育てコンパス」「事故予防冊子」などの提供

世田谷区内 19 地域で「子連れおでかけマップ」を発行

・UR 都市機構との協働事業

子育て支援拠点「キッズスペースぶりっじ@roka」の設置・運営（場づくり）

コミュニティカフェの運営

・地域懇談会や講座等による子育てグループのネットワーキング